



### ジャパンパレード&ストリートフェアにおける自治体プロモーションについて

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所 所長補佐 岡本 良太 (岡山県備前市派遣)

#### はじめに

クレアニューヨーク事務所では、年間を通じて旅行博や日本文化を普及するためのイベントなどに出席し、地方自治体の観光プロモーションを支援しています。北米で開催されるイベントにおいては、ニューヨーク事務所としてブースを出展し、日本の各自治体のプロモーションを行うほか、日本の自治体が当地で観光プロモーションを行う際のサポートなども実施しています。本レポートでは、2025年5月10日にニューヨーク市のセントラルパーク西側の沿道で行われたジャパンパレード&ストリートフェアにおける観光プロモーションおよび同イベントに参加した富山市への支援の様子を紹介します。



出展ブースで自治体のPRを行う様子

#### ジャパンパレード&ストリートフェア

ジャパンパレードは、在ニューヨーク日本国総領事館を含む、現地の日系企業が参画する非営利団体「ジャパン・デイ Inc.」が主催する、ニューヨーク最大の日本文化啓発事業です。日系企業や団体をはじめ、国際的な著名人や現地で人気のキャラクター、アニメのパフォーマンス、日本文化に関するコミュニティー（空手教室、剣道教室など）、県人会による神輿や伝統的な踊りなど、

例年100団体ほどが参加し、パレードが実施されます。

また、パレードにあわせてジャパン・ストリートフェアも開催され、日本料理のフードブースや書道などの体験ブース、日本政府観光局や東京観光レップ、クレアニューヨーク事務所などの観光PRブースが立ち並びます。4回目の開催となった今回は1日で約6万人もの来場者が訪れるなど、北米地域における日本関連のイベントとしては最大級のイベントとなっています。

#### 日本の自治体のパレードへの参加

昨年のパレードには日本の自治体として初めて山口市が参加しましたが、それに引き続き今年は富山市が参加し、プロモーション活動を実施しました。両市ともに、本イベントへ参加するきっかけとなったのは、ニューヨーク・タイムズ紙が発表している「52 places to go (訪れるべき52の場所)」に選ばれたことです。同紙は、毎年1月頃に旅行先として勧める世界各地の場所を選び発表しており、今年は富山市と大阪市が取りあげられました。この発表に際して、500以上の世界中の候補地の中から、度重なる会議のもと52都市に絞り込まれたとされています。



甲冑姿でパレードに登場した富山市の藤井裕久市長

富山市は、同紙に選定されたことによる PR 効果を最大限に発揮するため、昨年の山口市に引き続きパレードへの参加を決定しました。また、パレード前日には富山市長らがニューヨーク・タイムズ本社を訪問し、レポーターの方と直接お話をするなど、今回の貴重な機会を最大限に活用されていました。

## 当日のイベントの様子

先述のとおり約 6 万人が来場した今年は天候にも恵まれ、過去一番の盛り上がりを見せました。富山市からは、市長を含む市職員、市内観光協会をはじめ、伝統芸能である民謡「越中おわら」のおわら保存会の関係者 10 人を含む合計 17 人が現地に渡航し、観光プロモーションを実施しました。越中八尾おわらの保存会のメンバーは富山で歌い継がれている民謡おわら節に合わせた踊りを披露したほか、よろいかぶとや陣羽織に身を包んだ富山市長が自ら「フロート」と呼ばれる台車に乗込み、セントラルパークの西側の道路を 30 分ほどかけて行進し、伝統芸能などの魅力をアピールしました。

また、パレードに併設されたストリートフェアでは、30 を超えるブースが立ち並び、来場者に日本文化を紹介しました。当事務所も毎年このストリートフェアにブースを出展しており、日本政府観光局や東京観光レップなどと連携しながら、日本の各自治体から提供いただいたパンフレットやノベルティなどを活用して観光プロモーションを実施しています。

富山市もパレードにあわせてブースを出展し、富山市の魅力を発信しました。富山市ブースでは、カプセルトイの景品としておわらのうちわや和紙ブレスレット、特製のマフラータオルなどを配布したほか、来場者が甲冑を着て写真撮影ができる体験コーナーを実施するなど、会場を大いに盛り上げました。特にカプセルトイのコーナーでは終日長蛇の列が途切れず、景品もすぐに完売するなど、絶大な人気を誇りました。「富山市についてあまり知らなかったが、行ってみたらなった」との声も多く、北米での認知度向上において、絶好の機会となりました。



カプセルトイの景品として配布した特製マフラータオル



簡易甲冑体験にて写真撮影を行う様子

当事務所としても、富山市のイベント参加にあたっての事前調整をはじめ、当日の会場設営支援、来場者の整理、来場者への詳細説明など、幅広い支援を実施しました。本イベントの様子は、日米合わせて 200 以上の報道で取りあげられており、富山市の当事業への参画は非常に効果的であったと考えられます。



富山市ブースに並ぶ長蛇の列

## おわりに

富山市はニューヨーク・タイムズ紙掲載を契機にジャパンパレードへ参加し、北米での観光 PR を実施しました。同紙に掲載されてから本事業への参画に至るまで、限られた時間の中で、意思決定、予算の確保、イベントへの準備など、迅速な対応をいただけたことが実現につながったと考えられます。昨年参加した山口市と同様に、富山市においても本事業への参画を機に今後さらなるインバウンドの増加など、多くの波及効果が期待されます。限られた財源の中で、突発的で前例のない事業チャンスをしっかりと活用するためには、日頃から組織体制を整え、関係機関と連携することが重要です。山口市や富山市の例、またクレアの活動を参考に、海外でのプロモーションにさらに関心を寄せていただくと幸いです。